「地域密着型金融推進計画」(平成27年度)の取組み方針

当金庫では、平成15・16年度の「リレーションシップバンキングの機能強化計画」、続く平成17・18年度は「地域密着型金融推進計画」を策定し取組んでまいりました。また、平成19年度からは、「地域密着型金融推進計画」を恒久的な取組みと捉え、地域金融機関として地域発展のため推進しています。

当金庫が目指す姿とは、『地域に親しまれ、信頼され、お役に立つ、地域とともに発展し選ばれ続ける金融機関』であります。

「金融政策」、「財政政策」、「成長戦略」の三つを柱としたいわゆるアベノミクスの期待感から、円高是正・株価 回復の動きや家計・企業マインドの改善等を背景に、デフレ脱却の兆しが見えつつあり、日本経済全体では回復の流れ が生じてきていますが、当地域経済においては人口減少や少子高齢化、中小企業経営者の高齢化・後継者不足、グロー バル化への対応、消費税率引上げなど、乗り越えなければならない課題は山積しており、当金庫の営業エリアである経 済力は依然として厳しい状況が続いています。

このような環境の中、地域に住む人々をはじめ、経済活動に携わるお客様への取組みを一層徹底し、ホスピタリティ精神と質の高い金融サービスの提供が、わたしたちの使命・役割であると考えています。

平成27年度についても「地域密着型金融推進計画」では、下記の項目について取組んでまいります。お客様満足度・信頼度の向上と課題解決・地域貢献に向けて、人材育成を行い、コンサルティング機能の強化に向けた態勢づくりに努めてまいります。□□

- 1. ライフサイクルに応じた取引企業の支援強化
- 2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に通じた資金供給手法の徹底
- 3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献



〇地域密着型金融推進計画表(平成27年度)

項 目	取 組 方 針	具体的取組策	
ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化			
①創業・新事業支援	・ 創業・新事業に対する融資商品の提供による新規事 業所の開業支援および新規雇用の創出	・起業家に対して事業計画のアドバイス、国の制度・ 支援機関等の紹介および融資商品の提供を実施しいきます。・保証協会、商工会議所・商工会と連携して積極的に 取組みを実施していきます。	
②経営改善支援	・経営改善の取組みの支援および金融円滑化に関する 恒久的措置への対応	・経営改善計画書の策定、経営相談、ライフサイク に応じた条件変更等へ取組み、専門家(税理士等) と連携しコンサルティング機能を発揮していきま	
	・顧客相談ニーズへの積極的対応・販路拡大支援・ビジネスマッチング支援	 経営改善支援先をリストアップし経営改善指導に りランクアップを図っていきます。 (9先選定) 札幌市道庁赤レンガ広場を利用した地場産品フェ の開催、旭川市の「駅マルシェ」参加への支援、 金庫主催のビジネスマッチングを実施します。ま 信金中央金庫と連携して、商品カタログを作成、 ジネスチャンス拡大に努めます。 	
③事業再生	・ 企業価値の維持と早期企業再生	・中小企業再生支援協議会を活用し、再生に向けて応していきます。・専門家(税理士、公認会計士、中小企業診断士等との連携を図っていきます。	
④事業承継	・事業承継問題の解決に向けた外部専門家との連携	・ 案件により、弁護士・税理士・中小企業診断士・ 金中央金庫・信金キャピタル(㈱等と連携し、お客 の円滑な事業承継を支援していきます。	
⑤課題解決型金融の強化	・『ジョイント30』の実施 ・コンサルティング機能の発揮 (信用金庫の「スクラム強化」発揮のための行動)	・ お客様の課題を明らかにし、解決に向けた活動を 織的に行い、コンサルティング機能を発揮します	

〇地域密着型金融推進計画表(平成27年度)

項目	取 組 方 針	具体的取組策	
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底			
①財務データや担保・保証に 必要以上に依存しない融資 の推進	・企業実態把握と財務分析能力の向上・不動産担保・個人保証に必要以上に依存しない融資の推進・事業内容や成長可能性などを適切に評価	・目利き機能向上のため研修を充実していきます。・「融資実態把握表」の作成を通して審査能力の向上を図っていきます。・事業計画等を重視した審査に努め、ABL融資手法の積極対応等により、不動産担保・個人保証に必要以上に依存しないよう、目利き力向上に努めます。	
②中小企業に適した資金供給 手法の徹底	・地域のニーズを踏まえた資金供給手法の取組み	・ ABL融資等を活用し、中小企業に適した資金供給 による地域活性化に努めます。	
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献			
①地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み		 ・産学連携から農商工へと連携した地域活性化と地産地消に関する支援を行っていきます。 ・大学等に対する寄付講座の開催を実施していきます。 ・具体的事業化の可能性が高いものを中心に地域資源の利活用や事業化に対する検証を行うための研究会等へ参加し連携していきます。 ・地場産品の販路拡大・情報発信を図ります。 ・上川総合振興局との連携協働事業により、地域および地域企業の活性化を図ります。 ・名寄・士別地域連携会議の開催から助成金制度等の周知など企業支援を行います。 ・医療・介護等成長分野に積極的に取組みます。 ・農業分野に取組むべく農業経営アドバイザーの研修派遣を実施し人材育成を図ります。 ・「目利き力」およびコンサルティング能力の向上によりお客様への適切なアドバイスに努めます。 	

